2026年11月18日

各位

会　社　名　　株式会社Ｍａｃｂｅｅ　Ｐｌａｎｅｔ
代 表 者 名　　代表取締役社長 正田 英之
（コード番号：7095 東証プライム）
問 合 せ 先　　執行役員 社長室長 杉 裕次郎
（TEL 03-3406-8858）

生成AI活用型BIツール「Macbee Eye」提供開始のお知らせ

当社グループは、広告データと成果データを統合し、レポート作成から意思決定までを支援するマーケティングデータに特化した生成AI活用型BIツール「Macbee Eye」を開発し、第一弾導入企業として総合人材サービスのパーソルテンプスタッフ株式会社への提供を開始しましたので、お知らせいたします。本ツールの詳細は下記のとおりです。

記

１．開発の背景

人材派遣業界のマーケティングの現場では、求人媒体や各種広告に加え、地域ごとのエリアマーケティングなど、複数のメディア・チャネル・切り口で施策が展開されています。パーソルテンプスタッフ株式会社においても、複数のチームがそれぞれの施策を運用しており、媒体別・地域別などのデータが分散していました。そのため、マーケティング全体の予算を横断的に把握するためには複数のデータを確認する必要があり、状況の変化を捉えながらマーケティング予算をどこに配分するかを迅速に判断するうえで課題がありました。こうした背景のもと、当社グループでは、汎用的なAIソリューションではなく特定業界に特化し、広告成果改善や運用プロセスの最適化を支援するプロジェクト「AI-X シリーズ」を推進しており、その一環として、ダッシュボードをコードベースで柔軟に設計・改善し、生成AIも組み合わせながら意思決定を支援する「BI as Code」のコンセプトに基づき、本ツールを開発しました。第一弾導入企業であるパーソルテンプスタッフ株式会社における概念実証（PoC）においては、媒体別・地域別のデータなど異なる領域のデータを横断して分析できる環境を整備したほか、AI コンサルタント機能によって必要な情報へ迅速にアクセスできる仕組みを構築し、マーケティング施策や予算配分に関する意思決定をより迅速に行える可能性を確認したことから、同社への本格提供を開始するにいたりました。

２．「Macbee Eye」の特長

本ツールは、当社グループが保有する一部の広告データとクライアント社内の成果データを統合し、任意の期間で横断的に可視化できる生成 AI 活用型 BI ツールです。コードベースで構築・管理することで、既存ツールの制約に縛られにくい柔軟な画面設計と機能追加を実現します。主な特長は以下のとおりです。

(1) 経営層向けに、重要指標と全体状況を直感的に把握
(2) AI コンサルタントにより現場担当者から経営層まで必要な情報へ素早くアクセス
(3) 現場の業務ロジックを反映し、各社で使い続けられる仕組みに
(4) レポートのためのレポートではなく、意思決定の仕組みそのものを変革

３．今後の展開

今後は、導入企業における運用を通じて、現場の声を反映した AI 最適化やシミュレーション活用を進めるとともに、予算配分や媒体選定を含むマーケティング上の意思決定をツール上で支援できる状態を目指します。さらに、企業が保有する内部データにとどまらず、業界特性を捉えた外部データや、生成 AI 上で自社ブランドがどのように認識・提示されているかといったデータも活用し、市場環境と自社のマーケティング状況を一体的に可視化する機能について検討を進めてまいります。また、AI-X シリーズとして、人材業界に限らず各業界に特化した意思決定支援基盤の開発・提供も進めてまいります。

４．業績への影響

本ツールの提供開始が当期業績に与える影響は軽微でありますが、今後、業績への重大な影響が認められる場合には速やかにお知らせいたします。

以　上